

じ 耳 はい 盃

■ 出土地：県営首里城公園 中城御殿跡

「まいコレ」では、収蔵庫に眠るイチ  
押し出土品を、月替わりで紹介。

今回は、牡丹唐草が描かれた美しい  
耳盃です。

県立博物館跡地には、琉球国王の世子が暮らす邸宅として「中  
ぐすくうどうん城御殿」が1875年から1945年までが存在していました。発  
掘調査では、当時のものと思われるたくさんの金属製品が確認  
されています。なかでも目を引くのが耳盃です。

器形は双耳で高台が付き、口縁部は直口していますが、胴部  
わすは僅かに膨らみを有します。高台は高く、板金を環状に繋いで  
底にろう付けしています。

文様は胴部中央に牡丹唐草、胴下部に花卉の連続、高台に唐  
草が描かれ、口縁部に列点による唐草が施されています。耳は  
左右対称で厚さ3mmの板金を花唐草形に切透しし、身にろう  
付けしています。

現存する耳盃の多くが祭祀に用いられたことから、何らかの  
儀式に使用された酒器と考えられます。小さいながらもとても美  
しい祭祀道具です。



金属製品溜まり検出状況 ▶